

1. キャリア・就職支援の基本的考え方

(1) キャリア・就職支援の基本的考え方

1. 地域学部の学生の人生設計を支援します。
 - ・定期的な自己の振り返りと、将来を考える機会を設けます。
 - ・「自分の人生を自分で作る」、「自分の意志を磨く力」を支援します。
2. 地域学部の学生が地域に貢献できる人材となるようチャレンジするための場をつくります。
 - ・1年次から地元有力企業や自治体など想定できる就職先¹を含めた社会の現場を体験する機会を作ります。(実践教育、インターンシップ、学生の自主的活動を含めます。)
3. 就活スキルの向上支援を行います。
 - ・就活支援講座を実施し、社会人基礎力を高めます。

(2) 学生が、企業(社会)が求める能力、スキル、専門知識を身につけるためには

企業(社会)が求める能力、スキル、専門知識は、仕事の場面によって対人折衝、集団統率、協調協力、予定外対応、自律遂行、サポート、着実持続、問題分析、プレッシャーに耐えることなど様々あります²。職務によりそれぞれの重要度は異なります。また、社会変化で変わる可能性もあります。

これらの企業(社会)が求める能力、スキル、専門知識は、学修、課外活動などによって獲得されます。自身の将来のため、バランスを取って取り組みましょう。

先行きが見えない変化の時代を生き抜くためには、まずは本質となる人間力を養うことが必要です。人間力とは、自分のキャリアを構築し、日々自分のチャンスづくりや変化対応、修羅場などを乗り越える重要な力です³。そのためにも、定期的な『自己の振り返り』をし、『将来を考え』、『現場で体験』することが必要になります。自己や目標が見つけれられないまま社会に出ることは、早期離職の原因の一つになります。スキルは本質となる人間力があってこそ生きるものと考えます。

また、職業、職種によって様々な専門知識が求められます。これらの専門知識はいわゆる文科系・理科系の学問を含んでいます。(参考資料2⁴)。

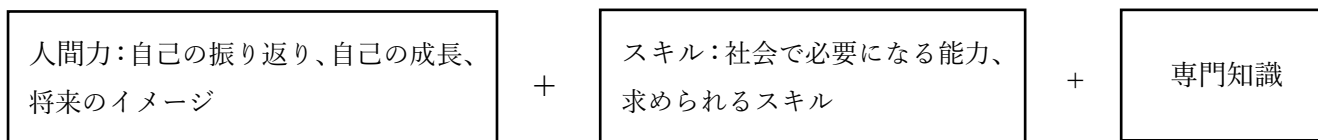
¹ 参考資料1 「地域学部向け県内就職先候補一覧」(要回収)(注:農・工学部卒の実績しかない企業も含まれます。)

² 職務適応性.“SPI3 ホームページ”.株式会社リクルートキャリア
ア.<http://www.spi.recruit.co.jp/spi3/measurement.html>, (参照 2017-04-03).

³ 花田光世 働く居場所の作り方 日本経済新聞出版社,2013,p.76

花田充世 トータルな人間力への回帰が人事の柱に--これからの人事組織,労政時報,2001,3474,p.41-47

⁴ 参考資料2 「職業、職種と必要な学修」



2. キャリア・就職支援(全体の流れ)

(1) 人生設計のロードマップの自己確認

学生は、人生設計の確立に向けて以下のような自己確認することが人生設計のために必要です。これらは、就職活動の際に、企業(社会)から問われることでもあります。

1年次	大学生活は充実していますか？ ●これから何をしますか？(勉強？課外活動？) ●大学生活をどのように過ごしますか？ 充実した経験は社会に出るときにも力になります。 ●早めに準備が必要な進路を把握していますか？
2年次	入学後の1年間をどのように過ごしましたか？ ●地域学部でこれから取り組みたいことは何ですか？ ●当初の目標はどのくらい達成されましたか？ なぜ達成されなかったのですか？ ●今後はどうしていきますか？
3年次	熱中していることは何ですか？ ●今のあなたの興味・関心は何ですか？ ●あなたは将来どのような生き方、働き方をしたいですか？ ●その明確化・実現のために必要なことは何ですか？ ●あなたは、これまで辛い時どのようにして乗り越えてきましたか？
4年次	あなたはどんな大人になっていきますか？ ●働く上でのお手本は誰ですか？
将来の自分 「自分で自分の人生を築いていく」 「ありたい姿で働いている(生きている)」	

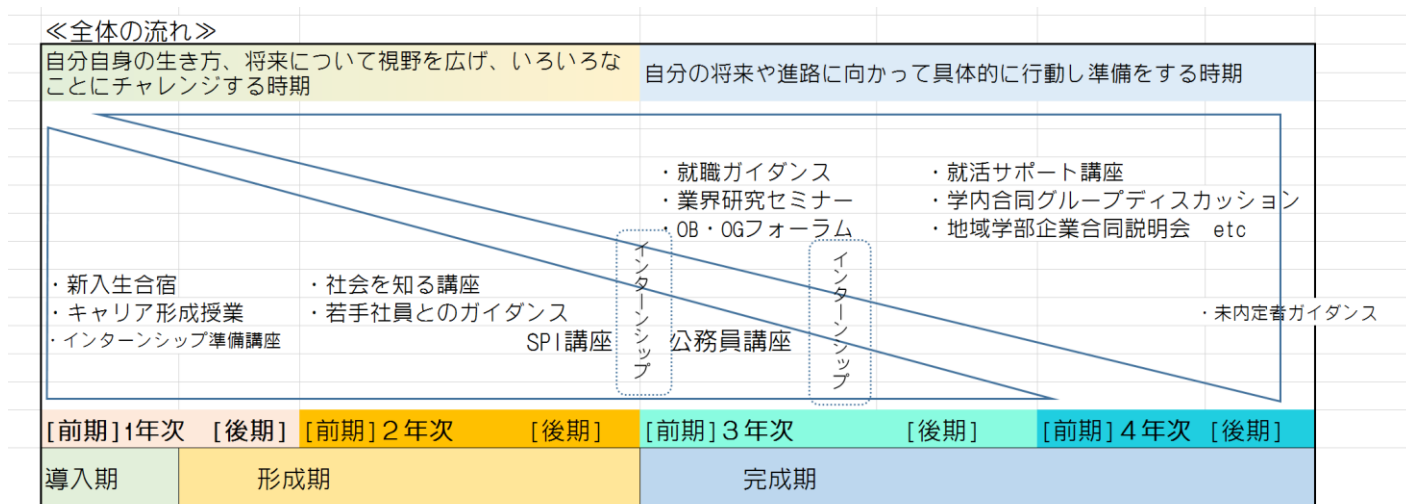
人生設計のロードマップの自己確認、進路志望を確認するため、1年生の7月、2月、2年生の7月、3年生の4月、10月にアンケート調査を実施し、1年生の4月、7月、12月(公務員)、2月(社会に出るために必要なこと、SPI試験について)、2年生の10月(キャリア設計、資格)、後期(SPI試験対策講座)、3年生の4月、10月にガイダンスを実施します。

これらにより、学生が必要なことに取り組んでいるか確認し、指導します。

(2) キャリア・就職支援(全体の流れ)

学生の卒業後の進路指導の役割を担っている担任教員⁵を就職活動支援チーム、就職コーディネーター等が支援します。

学生の卒業後の進路のサポートに関して下記の「導入期」「形成期」「完成期」を意識しながら、学生一人一人の成長に寄り添ったサポートをしていきます。(詳しくは別紙1「キャリア・就職支援に係る授業・事業一覧」、参考資料3「就職活動モデルケース⁶」参照。)



① 導入期(1年次前期)

これからの大学でのあらゆる学びに必要な要素を、「合宿を含む大学教育入門セミナー」「キャリア形成」「地域理解実習」「インターンシップ準備講座」等で身に付けます。大学で学ぶことの楽しさを知り、基礎を身に付け、大学での学びにスムーズに適応し、大学生活が充実できるようサポートします。

② 形成期(1年次後期から2年次後期)

知識を修得して専門性を高め、社会との関係性を広げ、他者や異文化への理解を深める時期と位置付けます。国内外の地域活動やフィールドワーク、社会を知る講座、若手社員とのガイダンス、SPI講座などのプログラムを通して、人間力の充実と初歩的な企業(社会)が求める能力、スキル、専門知識の獲得をサポートします。

↓

③ 完成期(3年次前期から4年次⁷)

⁵ クラス担任もしくはゼミ担当教員(設置計画 p.29)

⁶ 就職活動支援チーム、就職コーディネーターにより、いくつかのモデルケースについて、1年次からの対応のモデルケースを提示します。

例：JR九州、宮崎銀行、霧島酒造、ソラシドエア、テレビ宮崎、宮崎県庁、宮崎市役所

⁷ 2017年の実績では、3/1から求人情報開示が始まり、東京の大手企業の内々定は3月から、福岡は5月から、宮崎は6月から。

大学 4 年間の学びと自身の成長を振り返りつつ、将来に向けた人生展望を獲得できるよう人間力と就職活動に向けたスキルの強化をサポートします。関連情報を収集して学生が閲覧できるよう整備します。

県外(学生の出身地、福岡、東京など)への就職支援については、卒業生の紹介⁸など、担任教員を就職活動支援チーム、就職コーディネーター等が支援して実施します。

起業を希望する学生に対しても、担任教員を就職活動支援チーム、就職コーディネーター等が支援して実施します。

3. 宮崎大学地域学部のキャリア・就職支援体制

(1)担任教員による卒業後の進路サポート

5. 適切な体制の整備（設置計画 p.59）

本学部教職員は、企業や関連機関、自治体等の訪問を随時行い、採用担当者と意見交換することにより、実習やインターンシップ先の拡充、求められる人材像、採用方針等の情報を収集し、各学生の担任教員が責任を持って、一人ひとりの学生の卒業後の進路を強力にサポートしていくこととする。

(2)「就職活動支援の実施方針」に基づく就職活動支援チーム、就職コーディネーターによる担任教員の支援

表 就職活動支援チーム分担

全般担当	吉田、出口、入谷、熊野、森田、桑畑、新村
製造・サービス業担当	吉田、丹生
食品加工業担当	山崎
農産・農産品加工担当	撫、西
金融機関担当	谷田貝
マスコミ担当	吉田、土屋
ICT担当	金岡、土屋
公務員総合職担当	吉田、桑野、成瀬
公的団体担当	桑野

⁸ 学内データベースに、企業ごとの宮崎大学卒業生の所在情報があるので活用する。